

# 競 技 注 意 事 項

## 1. 競技規則について

- (1) 2025 年日本陸上競技連盟規則、並びに本大会申し合わせ事項による。
- (2) 本大会はWR k 対象競技会として申請しており、WR k 申請種目はトラック種目（リレー種目を除く）と跳躍種目とする。投てき種目全てと混成競技（男子八種競技・女子七種競技）及びリレー種目は申請除外とする。
- (3) 同時申込をした競技者が、フィールド競技の途中で他の競技に出場するため競技場所を離脱する際は、そのラウンドにおいては試技順を変更することができる。この場合、当該ラウンドが終了するまでに戻ってきた場合は試技が許されるが、戻らない場合は「パス扱い」とする。次のラウンドでは試技順の変更は許されず、予め決められた順序で試技を開始させる。試技時間が過ぎた場合は「無効試技」とする。

## 2. 練習について

- (1) 練習はプログラム記載の指定された会場で練習会場使用日程・留意事項に従い実施すること。
- (2) 練習会場では、競技役員・練習会場係の指示に従うこと。
- (3) 投てき練習は必ず引率責任者が付き添い、危険防止に努めること。指定された場所・時間以外の投てき練習は禁止する。
- (4) カンセキスタジアム 1 階外周の管理用通路での練習等は禁止する。
- (5) 事故防止の観点から、ウォーミングアップエリアでの傘を差しての移動や音楽を聴きながらの運動は禁止とする。

## 3. 競技場および競技用靴について

- (1) カンセキスタジアム・第 2 競技場の競技競走路及び助走路は全天候舗装である。
- (2) 競技用靴底のスパイクの数は 11 本以内とする。スパイクの長さは 9mm 以下とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以下とする。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は 4mm 四方の定規に適合するように作られていなければならない。(WA 競技規則 T R 5)
- (3) WR k 申請競技会につき、WA 競技用靴規定を適用する。
- (4) 競技用靴の靴底の厚さは 20mm 以内とする。ただし競歩における競技用靴の靴底の厚さは 40mm 以内とする。
- (5) フィールド競技用靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
- (6) 審判長が疑義を抱いた場合、競技開始前、競技中、または競技終了後に競技用靴の検査を行う場合がある。
- (7) 競技用靴規定に違反して競技をおこなった場合は、失格とする。

## 4. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは主催者が配布したもの（胸・背 2 枚）を使用し、そのままの大きさをユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- (2) トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバー標識を招集所で受取り、左右の腰につける。ただし、4 × 100m R は 4 走のみ、4 × 400m R は 2 ～ 4 走のみ左右の腰につけることとする。
- (3) 3000m、5000m、3000mSC、5000m 競歩は、胸背部特別ビブスを使用する。競技者は招集開始時刻 1 時間前までに T I C に特別ビブスを受け取りに来ること。その際、受付で配布した正規のビブスを持参し、係員の確認を受けること。
- (4) 腰ナンバー標識、特別ビブスは回収しない。

## 5. 招集について

- (1) 招集所は、カンセキスタジアムの 3 ゲート（1500m スタート地点）外側に設ける（競技場平面図参照）。第 2 競技場から招集所まで徒歩 5 分の所要時間がかかるため、注意すること。
- (2) 棒高跳については大会運営上の都合により、現地招集とする。

- (3) 招集開始及び完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

種目	招集開始	招集完了
トラック種目	25 分前	15 分前
走高跳・走幅跳・三段跳	1 時間前	50 分前
棒高跳（現地招集）	1 時間 40 分前	1 時間 30 分前
円盤投・ハンマー投	1 時間 10 分前	1 時間前
砲丸投・やり投	1 時間前	50 分前

混成競技の各日の 1 種目めの招集開始及び完了時刻は下記のとおりである。ただし 2 種目め以降の招集はトラック競技が競技開始時刻の 20 分前、フィールド競技が 40 分前に混成競技者控室で行う。

種目	招集開始	招集完了
混成第 1 種目（トラック）	25 分前	15 分前
混成第 1 種目（フィールド）	55 分前	45 分前

- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
- (5) 競技者は招集開始時刻に招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際にアスリートビブス、スパイクの数と長さ、商標等の点検を受けること。
- (6) 代理人による最終点呼は認めない。ただし、2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ【多種目同時出場届】に必要事項を記入し、招集所競技者係に提出すること。【多種目同時出場届】は T I C で配布する。

#### 6. 欠場について

出場種目を欠場する場合には、招集開始時刻までに【欠場届】を招集所競技者係に提出すること。

【欠場届】は T I C で配布する。

#### 7. 競技区域（競技エリア）への入退場について

- (1) 競技役員の指示に従い入退場し、規律ある行動をとるよう心がける。
- (2) トラック競技出場者については、以下のとおりとする。
- ① 招集所から競技者係の誘導により競技区域に入場する。
  - ② 競技終了後は 2 ゲート（フィニッシュ地点）から退場する。衣服等については、補助員が運搬する。（4×100m R は 4 走のみ。）
  - ③ 4×100m R の 1～3 走は各スタート地点に戻り、競技者自身が荷物を持って 2 ゲート及び 4 ゲート（200m スタート地点）から退場する。
- (3) フィールド競技出場者については、以下のとおりとする。
- ① 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
  - ② 跳躍及び投てき競技役員の誘導によって 2 ゲート及び 4 ゲートから退場する。

#### 8. トラック競技について

- (1) トラック競技予選の組・走路順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- (2) トラック競技の準決勝・決勝の組・走路順は主催者が抽選し、記録速報サイト（栃木陸協サイト内）に提示する。速報サイトに不具合等が生じた場合は、T I C に掲示する場合もある。
- (3) 混成競技において、トラック種目の組・走路順は主催者が抽選し、プログラムに示す。
- (4) 全てのトラック競技種目は写真判定（1/100 秒）で行う。
- (5) 800m までの種目及びリレー競走における同タイム者及びチームについては、1/1000 秒まで読み取り着差の判定をする。それでも判定できない場合は、レーンに余裕がある限り進出させる。レーン数が不足する場合には本人または代理者により抽選を行う。
- (6) 1500m・3000m・5000m・3000m S C の同タイム者については、次のラウンドに進出させる。

#### 9. リレー競技について

- (1) リレー競技に出場するチームは、【リレーオーダー用紙】を各ラウンドの第 1 組目の招集完了時刻の 1 時間前までに T I C に提出する。また、決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダーを記入し、予選に準じて招集完了時刻の 1 時間前までに T I C へ提出する。提出なき場合は棄権とみなす。
- (2) リレー競走でのユニフォームは、色やデザインが同様に同一のチームと判別可能であれば、形状が異なる衣類を着用しても良い。

## 10. 跳躍競技について

(1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりである。(状況により変更する場合がある。)

種目	練習	バーの上げ方					
男子 走高跳	1m83 1m94	1m88	1m91	1m94	1m97	2m00	以後 3 c m
女子 走高跳	1m50 1m61	1m55	1m58	1m61	1m64	1m67	以後 3 c m
男子 棒高跳	3m90 4m40 4m90	4m00	4m20	4m30	4m40	4m50	以後 10 c m
女子 棒高跳	2m70 3m20 3m70	2m80	3m00	3m20	3m30	3m40	以後 10 c m
八種競技 走高跳	1m50 1m70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後 3 c m
七種競技 走高跳	1m25 1m45	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後 3 c m

(2) 第1位及び全国大会出場決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2 c m、棒高跳は5 c mとする。

(3) 棒高跳出場者は、【アップライト申告書】を招集時に持参し、招集完了後に現地競技役員に提出すること。提出後の変更は、棒高跳競技役員に申し出ること。

(4) 三段跳の踏切板は、男子は砂場から12m地点、女子は砂場から10m地点に設置する。

## 11. 混成競技について

(1) 混成競技の競技者控室は、カンセキスタジアム メインスタンド1階の室内ウォームアップエリアに設置する。(競技場平面図参照) 競技者以外の立入りは認めない。

(2) トラック種目の走路順は最終種目(男子1500m・女子800m)を除き主催者が抽選し、プログラムに示す。

(3) フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。

(4) 南北同時刻・同ピットで行われる投てき種目の試技順は、南関東1回目→北関東1回目、南関東2回目→北関東2回目の順で行う。

(5) 八種競技の最終種目1500mは、それまでの得点上位から順に特別ナンバー標識を配布する。

七種競技の最終種目800mは、それまでの得点上位の第9位以降の競技者を1組めに振り分ける。

第1位～8位までの競技者を2組めに振り分け、得点上位から順に特別ナンバー標識を配布する。

(6) 途中棄権する者は【欠場届】を混成競技審判員に提出する。

## 12. 警告について

不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技会から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示す事によって競技者に知らされる。

## 13. 競技用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。

(2) 個人所有の棒高跳用ポールは検査に合格したものが使用できる。検査については、競技会場で練習中に競技役員が行う。

(3) 投てき競技において、競技者所有の投てき物の持ち込みを次の条件のもとに認める。

①検査に合格する。

②全出場者が公平に競技会で使用できる。

③主催者が検査の可否にかかわらず、投てき物を競技終了まで借り上げる。

④競技会使用により破損しても主催者の責任は問われない。

以上の条件を理解した上で持ち込みを希望する学校・競技者は、競技開始2時間前から1時間30分前までにTICに投てき用具を持参し、併せて【投てき用具検査申請書】(TICに準備)を提出すること。TICで投てき用具を受け付けた際には、【投てき用具預り証】を当該競技者に発行する。当該種目の競技終了後に、TICにて【投てき用具預り証】を確認した上で、投てき用具を当該競技者に返却する。

(4) 練習会場で使用する投てき物は、競技者各自で用意すること。

#### 14. 入賞・得点について

(1) 各種目の入賞は、第8位までとする。

(2) 各種目の得点は1位が8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。

(3) 各種目の合計得点により、男女別学校順位を決定する。(同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。)

#### 15. 表彰について

(1) 各種目8位入賞した競技者(チーム)は競技終了後に表彰状を贈呈する。

**表彰式への参加は各種目6位までとする。ただし、以下の種目は下記のとりの参加とする。**

男子5000m競歩・女子5000m競歩は5位まで。

男子走高跳・女子走高跳・男子棒高跳は6位6名まで。女子棒高跳は4位4名まで。

女子三段跳・女子ハンマー投は4位まで。

男子八種競技・女子七種競技は3位まで。

表彰式に参加する者は係員の案内に従い、表彰待機場所に集合する。(競技場平面図参照)

他の種目に出場するため表彰式に参加できない場合は、係員に必ず報告する。

(2) 表彰は、上下ジャージもしくはTシャツ等で参加する。なお、Tシャツ等については、登録商標に注意する。

(3) 表彰式へ参加しない入賞者はT I Cで賞状を受け取る。

(4) 学校対校の表彰は閉会式にて実施する。

#### 16. 全国大会出場権について

本大会の各種目6位(走高跳・棒高跳は6位6名、女子棒高跳は4位4名、競歩競技は5位、女子三段跳・女子ハンマー投は4位)まで、全国大会の出場権を得る。ただし、混成競技は3位までと各地区4位から6位の競技者の中から全国上位5名が出場権を得る。

#### 17. 抗議について

(1) WA競技規則TR 8による。ただし、**抗議は各都県監督のみが行えるものとする。**

#### 18. 助力について

(1) WA競技規則TR 6に従う。

(2) スタンドから映像を見せることは認める。ただし、スタンド最前列から地面まで距離があり危険であるため、映像機器等を競技者に手渡ししたり、スタンドから吊り降ろしたりすることは認めない。

(3) グラウンド内は全て競技区域(競技エリア)とする。したがって、競技中の助言(指導)は競技場スタンドに設けたコーチングエリアからのみ行うことができる。コーチングエリア外からの助言(指導)は審判長による警告(イエローカード)及び除外(レッドカード)の対象とする。

#### 19. 商標について

競技場内に下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品(衣類・バッグ等も含む)を持ち込むことは規定に抵触するので慎むこと。

(1) 上衣・下衣(ユニフォーム、シャツ、タイツ等)

学校名/ロゴ: 上衣は前後に1つずつ、下衣は1つのみ、大きさは問わない。

製造会社名/ロゴ: 上下1つずつ、40 c m<sup>2</sup>以内、高さ5 c m以内。

(2) バッグ

製造会社名/ロゴ: 40 c m<sup>2</sup>以内、高さ5 c m以内。

(3) ソックス・手袋・帽子・リストバンド等

製造会社名/ロゴ: 1カ所10 c m<sup>2</sup>以内、高さ4 c m以内。

(4) 競技者が競技中に衣類を2枚重ねて着用する(例えばベストの下にTシャツを着用する、ショーツの下にタイツを着用する)場合には、下に着用している衣類が露出していれば、広告その他の表示があってはならない。

## 20. 各種受付業務について

配布書類及び業務	提出／受付場所	提出または受付時間
アスリートビブス配布	T I C	6/12（木） 9：30～16：00 6/13（金）以降 7：00～16：00
長距離特別ビブス	T I C	招集開始1時間前までに正規のアスリートビブスを持参の上、取りに来る
多種目同時出場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
欠場届	招集所競技者係	招集開始時刻まで
リレーオーダー用紙	T I C	1組目の招集完了1時間前まで
アップライト申告書	棒高跳ピット	招集完了後に棒高跳ピットで競技役員に提出する
抗議申立（口頭） 抗議は各都県監督のみ可	T I C	正式記録発表後（予選・準決）15分以内 正式記録発表後（決勝）30分以内
上訴申立書（文書） （預託金 10,000 円）	T I C	審判長裁定後（予選・準決）15分以内 審判長裁定後（決勝）30分以内
投てき用具検査申請	T I C	競技開始2時間前から90分前まで
投てき用具返却	T I C	当該種目の競技終了後
記録証明書申請書	T I C	随時（1部500円）
プログラム訂正届用紙	T I C	随時
遺失物保管	T I C	随時
表彰式不参加者の賞状配布	T I C	各種目表彰式終了後から

※1 T I C（総合案内所）はカンセキスタジアム2階Aゲート内に設置する。

※2 招集所はカンセキスタジアム1階3ゲートに設置する。

※3 各配布書類はT I Cで受け取ること。

## 21. 施設使用について

- （1）カンセキスタジアム・第2競技場・投てき場・クレイグラウンドの使用時間は練習日程表の記載時間とする。
- （2）参加校の待機場所は、各都県に割り当てられた場所を使用すること。待機場所にテープを貼る場合はマスキングテープのみ使用可とする。ガムテープ、テーピングテープ、養生テープ等は不可。
- （3）テント設置は別紙に記載のとおりとし、許可された場所以外に設置することは厳禁とする。
- （4）カンセキスタジアムでの横断幕や部旗等の設置は全面禁止とする。のぼり旗の設置も不可。

## 22. 応援について

- （1）有観客での実施とするが、基本的な感染症対策については引き続き協力をお願いする。
- （2）声を出しての応援も認めるが、スタート時の応援は慎むこと。また、集団応援は正面スタンドで行わないこと。また、フィールド競技の妨げとならないよう、配慮すること。

## 23. その他

- （1）競技会で発生した事故等については、主催者側で応急手当をするが、以後の責任は負わない。
- （2）貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難や紛失等に十分注意すること。
- （3）競技者は招集所から競技地点までは原則として誘導に従うこと。
- （4）ADが無い者はカンセキスタジアム及び第2競技場、投てき場に立ち入ることはできない。  
競技者以外の者はトラック・フィールド内に絶対に入らないこと。
- （5）カンセキスタジアムにおいてはコーチングエリアを設けるので、その指示に従うこと。
- （6）競技場内では、指定された場所以外には荷物を置かないこと。
- （7）競技者は当該競技場所を勝手に離れることはできない。（トイレ等で離れる場合には競技役員の指示に従うこと。）
- （8）競技者は電子機器類（スマートフォン、映像装置、オーディオ機器、通信機器等）を競技場内に持ち込むことはできない。
- （9）競技者は審判役員の指示に従い、事故等の無いように留意すること。また、「組」「試技順」を確認し、競技進行に協力すること。
- （10）ゴミは原則として各自持ち帰ること。
- （11）公園利用者の迷惑となる行為は厳に慎むこと。
- （12）個人情報の取扱いについて大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的で利用することはない。